

MOOV 8 CASES

下町のちょっとした感動ネタから、ここにしかない凄技、人が集まりコラボが加速する場所まで大阪の物作りの今を知る、8ケース。



新技術



新事業



経営改革



海外展開

ザ・スパイラル・テクノロジー。 SOMETHING NEW

自動化量産体制と職人技。技術の幅の広さで事業領域を拡大中。

Technorogy

QUALITY & QUANTITY

AUTOMATION

HAND MADE

EQUIPMENT

AOI

葵スプリング株式会社
581-0037 八尾市太田7-18
Tel 072-949-8801
<http://www.aoi-spring.co.jp/>



バネ筋59年の技術と実績からつくれられる製品

注も増加。医療やエネルギー関連の企業から高難度の仕事が入っています。「高難度のバネが出来上がったときの喜びは格別」と語る青戸常務。お客様の要望に応える二兎追い戦略で、バネの可能性に挑戦し続けています。

設備を充実させて量産対応するか、職人技を磨いて高難度製品に特化するか。多くのものづくり企業が二者択一に悩まされています。そんな中、二兎を追って成功しているのが、バネ一筋59年の実績と技術を誇る葵スプリング株式会社。この10年で20台近くのNCマシンを導入。計60台ほどのマシンを稼働させています。「受注をもらってからマシンを買っていては遅い」と青戸宣暁常務。「導入するだけでなく、さまざまなアタッチメントやプログラムをオリジナル開発して自動化カスタマイズも実施しています」とも。その一方で、職人技の切磋琢磨にも

余念がありません。社内の製造スタッフの8割が国家資格である金属ばね製造技能士1級・2級を持ち、毎年新しい資格保持者が生まれています。また、生産ラインにも手作業専門のスタッフ2名が常駐。「試作品づくりや急ぎの仕事には高度な技術を持った専門の職人が欠かせません。お客様のニーズに応えるには手仕事がしっかりできる体制を整える必要があります。それと、昔ながらの職人の技術を伝承していく義務が私たちにはあると考えているので、手仕事を大切にしているのです」と青戸常務は語ります。

二兎を得たことで、1個から100万個まで、どんな受注にも対応できる体制を整備。さらに短納期、即対応も実現しています。その背景にあるのが、高度な品質管理。「大手メーカーと仕事をさせていただくことでとことん鍛えられました。1個でも不良品が出るとその時納入した全数を返品するロットアウトという莫大な損失が出来ます。それを回避するために他社が追随できない厳しい品質管理体制をつくり上げました」と青戸常務。バネにとことんこだわった技術力の高さ、設備の充実から、現在は「バネの形はしているけれど本来とは違う用途で使われるもの」の受

低成本の海外メーカーの台頭で金型製作はどんどん海外に流出し、1998年には約1万3000社もあった国内金型メーカーは、2008年には約9800社※まで減少しています。そんな中、他社製作や海外製作の金型の修理・改良・メンテナンス業務に特化して元気に活動しているのが『金型ドクター』として知られる株式会社大阪精密。

「デジタル技術の導入でCAD CAMや工作機械力を過信した金型づくりが流行し、手仕上げによる最終調整が疎かにされるようになりました。手作業がなければ健全な金型はつくれません。いわば病気を患ったようなものです。私は、アナログ的な手作業で病気を治し、金型を健康な状態に戻したいのです。だから『金型ドクター』というネーミングを付けました。目指すは“脱デジタル！復活アナログ！”です」と北野綱一社長。

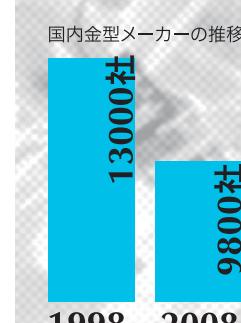
高い志を持った事業ですが、最初から順風満帆だったわけではありません。6年前の発足当初、地元大阪では、まだ金型メーカーが多く仕事になりませんでした。ならば、金型メーカーがまだ少ないタイやベトナムへ進出しそう、と視察を繰り返しました。そんな中、ふと思い浮かんだのが、国内の主要な自動車生産拠点の一つである九州。そこには自動車メーカーが集まり、たくさんのプラスチック成形メーカーがあります。調べてみると金型メーカーの数は片手で数えられるくらいでした。「海外進出よりも、まず九州だ」と北野社長は福岡県行橋市に工場を建て単身乗り込みました。地元の支援機関でもらった自動車関連企業のリストを手に飛び込み営業を敢行。初めての発注は半年後でした。その後、展示会への出展などで認知度を高め、今や九州では一日を置かれる金型メーカーに。

「私がつくりたいのは社会に必要とされる会社。時には社会の変化に合わせて必要とされる場に動くことも求められます。それが九州進出だったと思います」と北野社長。彼の志を持った行動は、結果的に九州の潜在需要を掘り起こすことにつながりました。必要とされる場…それが新天地なのです。

九州で花開いた「金型ドクター」。 必要とされる場を得て、修理特化の事業が躍進。



株式会社大阪精密
581-0036 八尾市沼4-2-3
Tel 072-920-2951
<http://www.osaka-seimitsu.co.jp/>



※出典：経済産業省「工業統計調査」